

(別紙様式第6号)

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度 令和 3 年度

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
1	龍部	広域 (パイン選果場951.38㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	経営面積の拡大や農業経営の法人化は目標を達成している。施設等の利用状況では生果用及び加工用選果場はパイン集荷量が少なく、各々30.7%、38.8%で目標未達成であった。	生産農家の確保及び農地の確保に努める。農家が望む機械化(運搬機追従型等)の推進による労働力不足の改善を指摘した。
2	伊是名村	東部 (風乾施設192.3㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	経営面積の拡大は野菜栽培可能な農地の確保が困難で、目標未達成(0%)である。また、施設等の利用状況では野菜の生産量は栽培農家の減少や反収の低さで目標未達成(3%)であった。水稻の生産量は目標達成している。	高齢化や離農により経営面積の拡大が依然として目標未達成である。早急に対象受益者の検討を行い、名簿の更新を図るよう指導した。タマネギ・カボチャ栽培農家の減少や労働力不足による野菜生産量の減少が続いているため、農家の生産意欲向上を図り、野菜栽培技術指導を行うよう助言した。
3	読谷村	第二西部 (野菜温室6744㎡)	平成24年度	平成29年度	経営面積の拡大は目標達成している。また、施設等の利用状況では栽培経験の浅い農家や病虫害防除不足により生産量が伸びず、目標未達成(36%)である。	栽培経験の浅い経営体による栽培管理不足で生産量が減少している。病虫害防除の徹底を指導し、生産農家の健康管理指導の必要を指摘した。
4	糸満市	喜屋武・糸洲/岬ガーデン (花卉温室7,200㎡)	平成24年度	平成29年度	①「経営面積の拡大」は、目標年度で達成されている。 ②施設の利用状況「オリエンタルユリの出荷量」では、23%で未達成。	ハウス内温度管理に努め、増産に取り組むよう指導助言。
5	糸満市	喜屋武・糸洲/沖縄県花卉園芸農業協同組合・糸洲花卉組合 (花卉集出荷施設495㎡、ハイマストフォークリフト、花卉選別施設533.66㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	①「農産物の品質向上」は6経営体とも未達成である。要因は、病虫害の発生、台風被害、季節風による茎の曲がり等により秀品が少ないことが考えられる。 ②施設の利用状況「小ギクの出荷量」では、103%、98.2%で利用率が高い。	①平張施設の有効利用による品質の向上対策について支援。 ②適期病虫害の防除対策に努めるよう指導・助言。 ③台風対策による被害の軽減を図ること。
6	名護市	勝山 (ペットボトル充填ライン一式)	平成25年度 (平成26年度繰越)	平成30年度	新規作物の導入は目標達成している。また、施設等の利用状況は目標未達成であり、ペット仕向け数量(21%)及び地区内農産物量(23%)、収入計画に対する収入実績割合(18%)である。	品質に関する賞を受賞しているものの、競合他社の商品の増加により販売に苦戦、また、コロナ禍による販売量の落ち込みもあり、地区内農産物量も制限を掛けている状況である。取引先との数量減少による収入実績の減少がつづき、厳しい状況ではあるが、更なる営業努力を提言した。
7	南風原町	南風原第2 (産地形成促進施設981.5㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	①意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標について、「経営面積の拡大」68.8%、「新規作物の導入」85.7%となり、未達成。それに伴う経営体の改善目標も未達成である。その要因は、地区内における葉野菜類、島野菜等の出荷者が少ない現状となっている。 ②施設の利用計画に対する利用状況について利用者数の目標に対し47.9%で未達成。地域内農産物の仕入・委託販売額の割合も22%と未達成である。	①経営面積の拡大を図るための農地の利用権設定を進めるよう指導助言。 ②島野菜の栽培農家を増やし、特産野菜・果樹栽培の取り組み支援。 ③施設利用者数を増やすためのイベントの開催、生産者への入荷・販売情報等提供による出荷の推進を図ること、生産部会の育成強化を図りファーマーズマーケットへの出荷を増やす地産地消の推進を講じた。
8	八重瀬町	やえせ (果樹温室13,350㎡)	平成26年度	令和元年度	①意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標について、「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」達成。「農産物の品質向上」未達成。それに伴う経営体の改善目標も51%と未達成である。 ②施設の利用状況は、果樹の出荷量が51%で未達成。その要因は、気象変動に伴う開花の遅れや花芽分化が例年より少なく品質及び生産量が低下している。	①着花・着果の促進を図り品質及び単収の向上に取り組むよう指導助言。 ②収穫後の早期施肥の実施、樹勢の維持管理、結果枝の誘引に努めるよう対策措置を行った。 ③花芽形成期には低温20℃以下にハウス内温度管理に努め花芽分化対策に取り組むよう指導助言。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
9	糸満市	真壁・真栄平 (レタス集出荷貯蔵施設493.3㎡、マルチャー・トラクター等一式)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	①「生産コストの縮減」は、6戸ともに未達成である。 ②施設の利用状況でレタスの出荷量が低調で18.2%となり未達成である。要因は冬場の曇天、降雨による品質の低下がレタスの出荷量に影響を与えている。さらに、1月～2月出荷は価格の低迷により経営的に厳しい状況となった。	①レタス栽培における季節風対策により高品質のレタス栽培について指導助言。 ②経営的な面からの作型体系の検討の必要性を提案。 ③圃場全体の排水対策により病害虫対策を図ることを指導助言。
10	宮古島市	みやこ第3 (さとうきび収穫機械等一式) (農業生産法人 嘉手苅ファーム)	平成26年度	令和元年度	①「経営面積の拡大」は6年度目にて目標達成。(「生産コストの縮減」「農業経営の法人化」は、目標年度で達成されている。) ②施設の利用状況は、目標年度で達成済み。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
11	宮古島市	みやこ第3 (さとうきび収穫機械等一式) (農業生産法人 西中ファーム)	平成26年度	令和元年度	①「経営面積の拡大」は6年度目にて目標達成。(「生産コストの縮減」「農業経営の法人化」は、目標年度で達成されている。) ②施設の利用状況は、目標年度で達成済み。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
12	石垣市	石垣第四 (野菜温室7,932㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	①「経営面積の拡大」「新規作物の導入」「農産物の品質向上」は、目標年度で達成されている。 ②施設の利用状況では、野菜の生産量が目標に対し73%となり達成した。	成果目標および利用計画に対する利用状況の目標達成。
13	本部町	本部 (粗飼料管理一式)	平成27年度	令和2年度	生産コストの縮減の目標は達成しているものの、農業経営の法人化は、意欲ある経営体の変更等があり法人化に至らず目標未達成(0%)である。また、粗飼料管理機械受益面積は目標達成している。	農業経営の法人化に向けて本部町役場担当者が農業会議の生産法人専門者に打開策について相談し、法人化に向けて関係機関との調整を図った。
14	宜野座村	宜野座 (イチゴ育苗施設1,872㎡、攪拌庫90㎡)	平成27年度	令和2年度	新規作物の導入は目標達成している。生産コストの縮減は供給された品種を望まず、別施設で栽培したため目標未達成(0%)である。また、イチゴ苗供給量は目標達成している。	共同管理で栽培している品種以外のイチゴ苗を希望し、一部自家ほ場にて品種管理することに成り、コスト縮減の目標達成ができなかった。本事業の目標達成には経営体の協力が必要であることを指摘した。
15	南風原町	南風原・津嘉山 (野菜温室5,814㎡)	平成27年度	令和2年度	①意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標における「経営面積の拡大」「新規作物の導入」達成。 ②施設の利用計画に対する利用状況について野菜の出荷量が目標の49.6%で未達成。その要因は、気象の変動に伴うハウス内の換気、温度・湿度管理に影響を受け病害虫の発生により反収が低下したことによる。	①ハウス内の温度・湿度管理を生育に応じて適切に管理することを助言。 ②単収及び品質の向上対策を行うこと。そのための対策として病害虫防除対策の徹底を図るよう指導助言。 ③生育後半における樹勢の維持管理は単収に影響するのでその対策を講じた。
16	八重瀬町	具志頭 (野菜温室11,505㎡) 具志頭第一地区ピーマン生産組合	平成27年度	令和2年度	成果目標「経営面積の拡大」「新規作物の導入」「生産コストの縮減」達成。 利用計画に対する利用状況、「野菜の出荷量」も目標達成。	成果目標および利用計画に対する利用状況の目標達成。
17	八重瀬町	具志頭 (野菜温室5,382㎡) 具志頭第二地区ピーマン生産組合	平成27年度	令和2年度	成果目標「経営面積の拡大」「新規作物の導入」「生産コストの縮減」達成。 利用計画に対する利用状況、「野菜の出荷量」も目標達成。	成果目標および利用計画に対する利用状況の目標達成。
18	豊見城市	豊見城 (果樹温室6,780㎡)	平成27年度	令和2年度	①成果目標「経営面積の拡大」「新規作物の導入」は達成されているが「農産物の品質向上」は3戸の経営体が未達成である。 ②施設の利用状況は利用率が71%で目標を達成。	①「品質の向上対策」について未達成の経営体を主に支援。 ②収穫後は施肥・灌水を適確に行い病害虫の防除対策に努めるよう指導・助言。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
19	豊見城市	豊見城 (野菜温室8,676㎡)	平成27年度	令和2年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」、「農産物の品質向上」は達成。 ②施設の利用状況は利用率が87%で目標を達成。	病害虫の防除対策に努めるよう指導・助言。
20	糸満市	喜屋武 (集出荷貯蔵施設148.5㎡、 トラクター、ローター、肥料散布機一式)	平成27年度	令和2年度	①「経営面積の拡大」は、5戸ともに未達成である。 ②施設の利用状況によるエンジンの生産量は14.9%となり利用率が低い状態にある。要因は自社生産のみの取り扱い量となっており、地区内農家からの洗浄エンジンや無洗浄エンジンの出荷取り扱いがないために全体の生産量に影響している。	①農地の利用権設定を推進し経営面積の拡大を図りながら栽培面積を増やしていくよう指導助言。 ②有機質堆肥を利用し単収・品質の向上を目標に経営の向上に取り組むこと。 ③出荷販売先の開拓による生産量の拡大を図ることが重要であることを低減。 ④単収向上を図るための適期病害虫防除対策、肥料散布機の有効利用を提言。
21	久米島町	久米島 (農産物処理加工施設300㎡、 ペースト加工設備一式)	平成27年度	令和2年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」ともに未達成である。要因は、農地の利用権設定が進まず、さらにさとうきびの輪作体系においてエンジン栽培の更新が少ないことによる。 ②施設の利用状況「原料仕入れ数量」は37.7%で利用率が低い。市場からの需要の減少や甘藷の基腐れ病により生産量が減少した影響が大きい。	①「経営面積の拡大」を図るための農地の利用権設定を早急に取り組むことを提言。 ②市場流通の拡大を目標にした栽培契約農家との栽培面積拡大を図り、加工原料の確保や加工製品の有利販売を検討する必要がある。 ③さとうきびとの輪作体系を推進し甘藷の基腐れ病対策を確立することが重要であることを提案。
22	南大東村	南大東 (整備・研修施設717.5㎡)	平成27年度	令和2年度	①「生産コストの縮減」は目標年度で達成されている。 ②施設の利用状況「研修会への参加人数」においては、過去3年間は100%で達成できていたが、コロナ禍の影響で今年度は32.8%と大幅に落ち込んだ。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。 施設の利用率については、これまで目標以上の達成が続いていたことから、コロナ禍明けに回復することを期待する。
23	宮古島市	みやこ第4 (畜舎・粗飼料管理機一式) (農業生産法人 大海)	平成27年度	令和2年度	①「経営面積の拡大」が未達成、「農業経営の法人化」は達成されている。「面積の拡大」の未達成の要因は、母牛の飼養頭数が計画120頭に対し、現状で152頭管理しており、粗飼料管理機の受益に対応が少ないことが予想されるので、現地での確認が必要となった。 ②施設利用の母牛の飼育頭数は126%で、目標年度で達成されている。	早急な対策措置として ①適正な飼養頭数による生産性の向上を図ること。 ②農地の利用権設定により草地の確保を計画的に行うこと。 ③粗飼料管理機械の有効利用を図ること。そのためには、草地面積を拡大し経営に生かすことが重要である。
24	宮古島市	みやこ第4 (さとうきび収穫機械一式) (農業生産法人 照秀産業)	平成27年度	令和2年度	施設の利用率において、ハーベスターの利用は118%と高いが、トラクター(砕土:ローター)の利用率が低調で47.9%となった。要因は、宮古島全体のさとうきび栽培において株出が約70%となっていること、また、株出更新が少ないのも一要因となっている。トラクター・ローターの稼働は、株出が増えたために低調である。	①株出管理機械の有効利用を図ることを提言した。 ②さとうきびの株出の更新を積極的に地域で取り組み単収の向上を図る必要がある。 ③さとうきび病害虫の共同防除の推進。
25	石垣市	石垣第五 (果樹温室8,190㎡)	平成27年度	令和2年度	①「経営面積の拡大」「新規作物の導入」は、目標年度達成している。 ②施設の利用状況では、果樹(マンゴー)の生産量が目標に対し86%となり達成した。	成果目標および利用計画に対する利用状況の目標達成。
26	八重瀬町	やえせ第2 (果樹温室8,310㎡)	平成28年度	令和3年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」、「生産コストの縮減」、「農産物の品質向上」は達成。 ②施設の利用状況は、果樹の出荷量が38%で生産量が低調で利用率は未達成である。その要因は、幼木管理のため着果を抑制し樹の負担を軽減した栽培管理となったためである。	①収穫後の早期施肥の実施、樹勢の維持管理、結果枝の誘引に努めるよう対策措置を行った。 ②花芽形成期には低温20℃以下にハウス内温度管理に努め花芽分化対策に取り組むよう指導助言。 ③適期病害虫防除対策に努め枝数を増やすよう講じた。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
27	南城市	南城市 (果樹温室4,950㎡)	平成28年度	令和3年度	①「経営面積の拡大」は達成されているが、「農産物の品質向上」は、2戸で未達成である。 ②施設の利用状況は、生産量が30.4%で未達成である。要因は収穫後の整枝・剪定が適期に実施されてなく結果母枝が少ないのが主な要因である。	①生産量を増やす栽培管理について支援。 ②マンゴーの品質向上対策については、病虫害防除対策の徹底を図ることを講じた。 ③収穫後の施肥・灌水の実施や適正剪定により結果母枝を養成し反収の向上に努めるよう指導・助言。
28	豊見城市	豊見城 (農畜産物集出荷貯蔵施設 863.4㎡)	平成28年度	令和3年度	①「生産コストの縮減」は、4年度目としての目標は達成されている。 ②施設の利用状況「出荷量」は、79.3%で達成。	①花芽形成期には低温20℃以下にハウス内温度管理に努め花芽分化対策に取り組むよう指導助言。 ②適期病虫害防除対策に努め枝数を増やすよう助言。
29	糸満市	糸満第一 (えだまめ脱莢機・選別機一式)	平成28年度	令和3年度	①「新規作物の導入」は、4年度目としての目標は達成されている。 ②施設の利用状況「えだまめの出荷量」も、目標の72%と好調。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
30	糸満市	糸満第二 (野菜選果用機械一式)	平成28年度	令和3年度	①「生産コストの縮減」は、4年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況「出荷量」は、36%となり未達成である。要因は高齢化が進み糸満市全体のニンジンの生産量が減少したことによる。内訳では喜屋武地区が70%、真壁・糸洲地区が20%、その他10%の生産量となっている。	①ニンジン栽培における反収・品質向上対策について指導助言。 ②特に播種後の寒冷紗被覆及び定期的な灌水の実施は発芽率を良くし反収向上に繋がることを情報提供。 ③生産部会の育成強化を図り、受益農家155戸に対するニンジン栽培の高揚を図ることが最も需要であることを提言。そのため、情報の共有化を行い糸満市全体のニンジン栽培面積の拡大を推進することが大切である。
31	北大東村	北大東 (農産物集出荷貯蔵施設 586.92㎡)	平成28年度	令和3年度	①「生産コストの縮減」は、4年度目として目標を達成。 ②施設の利用状況「出荷量」については、52.6%で利用率が低い。要因は、さとうきび栽培と馬鈴薯栽培とのバランスがうまくいかず、さとうきび栽培に取り組む経営体が増えていることによる。また、カボチャ栽培農家が6名離農の形になっており、馬鈴薯は単収が低いために生産量が低下している。	①利用率を高めるためには、かぼちゃ栽培農家の担い手を確保し栽培面積を3ha以上確保することが大切であることを指導助言。 ②さとうきび栽培と馬鈴薯、カボチャ栽培との輪作体系の確率が重要である。 ③馬鈴薯栽培における単収、品質向上対策についての指導助言。
32	宮古島市	みやこ第五 (乾燥調整貯蔵施設) (上野村葉たばこ施設組合)	平成28年度	令和3年度	①「生産コストの縮減」は、4年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況「共同乾燥施設処理枚数」は、目標に対し117.2%と順調。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
33	宮古島市	みやこ第五 (さとうきび収穫機械一式) (農業生産法人 長山ファーム)	平成28年度	令和3年度	①「農業経営の法人化」は、4年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況、ハーベスターおよびトラクター(ロータリー、プラソイラ、中耕ロータリー)は、目標面積に対しそれぞれ100%、101%、90%、102%と順調。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
34	多良間村	塩川高穴 (さとうきび収穫機械一式)	平成28年度	令和3年度	①「生産コストの縮減」は、4年度目として20%で未達成、5戸の目標に対し1戸が達成し、4戸は未達成となっている。要因は、ハーベスターによる収穫作業が一部の経営体に対応できていない状況にある。 ②小型ハーベスターによる利用率は74.4%で達成されている。	①ハーベスターの収穫作業体系を事業地区の範囲内で計画的に推進する必要がある。 ②事業主体は、「生産コストの縮減」を計画的に推進し経営改善を図ることが大切である。そのためには、受益農家との十分な連携を図り機械化体系によるさとうきびの生産振興に取り組むことが重要。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
35	南風原町	南風原・津嘉山第2地区 (野菜温室6,654.4㎡・南風原・津嘉山きゅうり生産組合)	平成29年度	令和4年度	①意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標における「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」達成。「農産物の品質向上」は50%と未達成、それに伴う「経営体の改善目標」も53.1%で未達成。 ②施設の利用計画に対する利用状況について利用率は、93.3%となり単収及び生産量が安定、利用率は達成された。	①農産物の品質向上を図るため、野菜栽培における病害虫対策の徹底、良質苗の生産及び確保、土壌消毒を推進し単収及び品質の向上に取り組むよう助言指導した。
36	南風原町	南風原・津嘉山第2地区 (果樹温室5,076㎡・南風原・津嘉山パッションフルーツ生産組合)	平成29年度	令和4年度	①意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標における「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」達成。 ②施設の利用計画に対する利用状況について利用率は、78.9%で生産が安定しており利用率が達成された。	①パッションフルーツ栽培における仕立て方と整枝・剪定についての支援。 ②台風対策についての情報提供及び対策についてのの措置を講じた。 ③電照栽培における施肥についての事例紹介により単収及び品質向上に取り組むよう指導助言。
37	八重瀬町	具志頭第二 (果樹温室13,396㎡) 具志頭第三ピーマン生産組合	平成29年度	令和4年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」、「生産コストの縮減」は達成されているが「農産物の品質向上」は、50%と未達成である。 ②施設の利用状況は、生産量が86%で安定している。	①成果目標達成支援を関係機関と連携し取り組んだ。 ②冬期は曇天が多いため、日照条件を良くするよう仕立て方や整枝・枝の誘引に努めるよう指導助言。 ③4月以降の高温期は遮光ネットを利用し日焼け果の対策を行うよう指導・助言。
38	八重瀬町	具志頭第二 (果樹温室7,917㎡) 具志頭第四ピーマン生産組合	平成29年度	令和4年度	①成果目標「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」、「生産コストの縮減」達成。 ②施設の利用状況も、生産量が80%と安定している。	成果目標および利用計画に対する利用状況の目標達成。
39	豊見城市	豊見城第2 (野菜温室 11,444㎡)	平成29年度	令和4年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」は、3年度目としての目標は達成。「農産物の品質向上」は未達成。 ②施設の利用状況では88%で利用率が高い。	「品質の向上対策」について未達成の経営体を主に支援。
40	豊見城市	豊見城第2 (野菜温室 9,190㎡)	平成29年度	令和4年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」は、3年度目としての目標は達成。「農産物の品質向上」は未達成。 ②施設の利用状況では80%で利用率が高い。	「品質の向上対策」について未達成の経営体を主に支援。
41	豊見城市	豊見城第2 (果樹温室 6,390㎡)	平成29年度	令和4年度	①「経営面積の拡大」、「新規作物の導入」は、3年度目としての目標は達成。「農産物の品質向上」は未達成。 ②施設の利用状況では、152%で利用率が高い。	①花芽形成期には低温20℃以下にハウス内温度管理に努め花芽分化対策に取り組むよう指導助言。 ②適期病害虫防除対策に努め枝数を増やすよう助言。
42	糸満市	糸満第三 (花卉温室)	平成29年度	令和4年度	①「経営面積の拡大」は、3年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況「コチョウランの出荷量」は、174.3%の達成と順調に推移。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
43	糸満市	糸満第三 (花卉選別施設、育苗施設)	平成29年度	令和4年度	①「生産コストの縮減」は、3年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況「小ギクの出荷量」は、83.5%の達成と順調に推移。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
44	多良間村	仲筋・仲筋北部 (さとうきび収穫機械一式)	平成29年度	令和4年度	①「生産コストの縮減」は、3年度目として20%で未達成、5戸の目標に対し1戸が達成し、4戸は未達成となっている。要因は、中型ハーベスターによる収穫作業が4戸の経営体に対応できていない状況にある。 ②高生産性農業用機械施設であるハーベスターの利用率は収穫面積44.3%、耕起・砕土・植付面積27.0%で未達成。	①ハーベスターの収穫作業体系を事業地区の範囲内で計画的に推進する必要がある。 ②事業主体は、「生産コストの縮減」を計画的に推進し経営改善を図ることが大切である。そのためには、受益農家との十分な連携を図り機械化体系によるさとうきびの生産振興に取り組むことが重要。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
45	広域	沖縄県広域 (集出荷貯蔵施設、空調施設、搬送ライン、真空予冷装置)	平成30年度	令和5年度	新規作物の導入は成果目標が未達成(71.4%)である。また、施設等の利用状況ではキク類の出荷量は70%以上の目標達成している。	今年度はコロナの影響により、花の売れ行きの不安から思うように新規作物の導入に取り組めず、成果目標が未達成となった。花卉農協の夏秋キクへの更なる取り組み強化を指摘した。
46	伊江村	伊江村 (精脱葉施設、さとうきび収穫機一式)	平成30年度	令和5年度	経営面積の拡大は、2年度目としての目標は達成している。新規作物の導入及び生産コストの縮減は目標未達成(0%、75%)である。また、2年度目としての施設等の利用状況はさとうきび脱葉処理量やさとうきび収穫面積ともに目標達成している。	成果目標である新規作物の導入や生産コストの縮減は、目標達成できていない。目標達成に向けて経営体の人替えやさとうきび栽培等の対策を図るよう指導した。
47	糸満市	米須 (集出荷貯蔵施設、冷蔵庫) (米須生産組合)	平成30年度 (平成31年度繰越)	令和5年度	①「農業の法人化」は、2年度目としての目標は未達成となっている。点検評価により令和3年度には「農業の法人化」は達成見込み見込みである。 ②施設の利用状況はキュウリの出荷量が145.7%、モロヘイヤが80.9%で利用率が高い。	①農業法人化に向けての計画の推進支援。 ②法人化に向けての指導助言、経営の永続性が可能、税制面での優遇措置等、農作業の効率化と過剰投資の解消について指導助言。 ③モロヘイヤの電照栽培について指導助言。
48	糸満市	米須 (集出荷貯蔵施設、冷蔵庫) (波平園芸組合)	平成30年度 (平成31年度繰越)	令和5年度	①「新規作物の導入」、「雇用者の確保」は、2年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況はキュウリの出荷量が50.8%、モロヘイヤが281.3%で利用率が高い。モロヘイヤ栽培面積とキュウリ栽培面積の調整を行えば、キュウリの生産量も向上することが可能である。	①キュウリ栽培における病害虫防除対策について。 ②モロヘイヤ栽培における電照栽培について指導助言。
49	石垣市	石垣第六 (野菜温室10,560㎡) (奈良佐野菜生産組合)	平成30年度	令和5年度	①「経営面積の拡大」「新規作物の導入」「農産物の品質向上」は、2年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況では、野菜(ゴーヤー・ナス・トマト等)の生産量が目標に対し121%となり達成している。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
50	石垣市	石垣第六 (野菜温室5,796㎡) (田原野菜生産組合)	平成30年度	令和5年度	①「経営面積の拡大」「新規作物の導入」「農産物の品質向上」は、2年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況では、野菜(ゴーヤー・ピーマン・インゲン等)の生産量が目標に対し126%となり達成している。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
51	南城市	糸数 (高生産性農業用機械施設 小型ハーベスター)	令和元年度	令和6年度	①成果目標「生産コストの縮減」は、1年度目では達成。 ②利用計画に対する利用状況「収穫面積」も達成中。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
52	南城市	知念 (高生産性農業用機械施設 小型ハーベスター)	令和元年度	令和6年度	①成果目標「生産コストの縮減」は、1年度目では達成。 ②利用計画に対する利用状況「収穫面積」も達成中。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
53	石垣市	石垣第七 (果樹温室8,190㎡) (石垣第3マンゴー生産組合)	令和元年度	令和6年度	①「経営面積の拡大」「新規作物の導入」「農産物の品質向上」は、1年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況としては、1年目で苗を植え付けて育成している状況である。生産量は0だが、計画通り。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
54	石垣市	石垣第七 (野菜温室4,104㎡) (村中野菜生産組合)	令和元年度	令和6年度	①「経営面積の拡大」「新規作物の導入」は、1年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況では、野菜(ゴーヤー・キュウリ・ピーマン・ヘチマ等)の生産量が目標に対し92%達成と順調。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
55	宜野座村	松田 (松田平張施設6,132㎡、集出荷施設64㎡)	令和元年度	令和6年度	経営面積の拡大や新規作物の導入及び雇用者の確保は目標達成している。施設等の利用状況は施設建設のため前期は栽培できず、目標未達成(33%)である。	1年度目としての成果目標は達成している。施設の利用状況は施設建設のため前期は栽培ができずに目標未達成となっている。2年度目からは順調な栽培が実施できるよう指摘した。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
56	宮古島市	みやこ第六 (農畜産物出荷貯蔵施設) (伊良部島枝豆生産組合)	令和元年度 (令和2年度繰越)	令和6年度	①「農業経営の法人化」は、1年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況は、えだまめの出荷率が94.4%、かぼちゃが94.1%と利用率が高い。オクラは31.1%で計画に達していない。要因は、台風被害等により生産量が減少したことによる。	①さとうきびを暴風対策用に設置し台風被害の軽減を図ることが重要である。 ②定期的に灌水を行い単収向上に取り組むことの情報を提供。 ③えだまめ栽培における栽培管理についての情報を提供し産地化を推進。
57	糸満市	糸満第四 (花卉選別施設、育苗施設) (新垣花卉生産組合)	令和元年度 (令和2年度繰越)	令和6年度	①「生産コストの縮減」は、1年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況「小ギクの出荷量」は、目標の76.4%と順調。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。
58	糸満市	糸満第四 (花卉選別施設) (大度花卉生産組合)	令和元年度 (令和2年度繰越)	令和6年度	①「生産コストの縮減」は、3戸未達成となっている。要因は、年度途中からの施設選別所の整備及び選花機による小ギクの選別・結束作業が遅れた為作業時間を要した。 ②施設の利用状況「小ギクの出荷量」は、目標の80.5%と順調。	①計画的な小ギクの生産を確立すること。 ②雇用の確保を図り計画的な小ギクの選別・結束作業に取り組むことの指導助言。
59	糸満市	糸満第四 (花卉選別施設、育苗施設) (株:美ら島)	令和元年度 (令和2年度繰越)	令和6年度	①「生産コストの縮減」は、1年度目としての目標は達成。 ②施設の利用状況「小ギクの出荷量」は、目標の90.3%と順調。	成果目標達成。引き続き良い状態を保つよう助言。